

令和7年度 第2回区自治協議会会長会議

日 時	令和8年1月16日（金）午後3時00分 ～ 午後5時00分	
会 場	新潟市役所本館 6階 執行部控室	
出席者	会長	坪木 俊郎 北区会長、 山岸 希 中央区会長、 渡邊 彩 秋葉区会長、 風間 一夫 西区会長、 佐藤 清 東区会長、 中野 高子 江南区会長、 関川 秀明 南区会長、 吉田 金豊 西蒲区会長
	事務局等	市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	0名	
主な議題	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和8年度全体委員研修会について</p> <p>【開催案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料1「令和8年度全体委員研修会企画の方向性について」、資料2「令和8年度全体委員研修会 開催内容（案）について」に基づき、同研修会の開催案について、事務局から説明がありました。 日時、会場の確認がありました。 ○日時：令和8年5月15日金曜日 午後から ○会場：黒崎市民会館 研修のテーマは防災に関することとしました。 研修の方向性について、体験型と講演型を組み合わせた形式で行うこととしました。 講演については、新潟県が開発中の避難者支援システムについて、仕組みや現時点の開発状況等を、説明してもらえよう依頼することとしました。 <p>■主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験しないとわからないこともあるが、地域によって災害の内容が違うと思うので、講演だと具体的な話が聞ける。可能であればどちらもできたら良い。 防災に対する区の取り組みは進んでいるところと、そうではないところがある。それだけ差がある中でやるのは難しいのではないか。 災害がいつどこで起こるかわからず、実体験がない中では、訓練をしていかないと体に染みつかない。 地域の発展のキーポイントとなる子どもや若者の考え方などに関する講演であれば、実践的で役に立つのではないか。 	

- 起震車は滅多に体験できるものではないため、呼べるのであれば、体験型の研修が良いと思う。
- 避難訓練の参加率の低さや、役員の高齢化が課題だと感じる。
- 防災のあり方について、今後の防災について話を聞いて実践できる、テーマの講演で情報交換ができるとよいのではないか。
- 情報交換の際は、学校とどのように連携するか、高齢化への対応などポイントをいくつか提示した方がよい。
- 避難所がわかりにくい、場所をわかっていない人がおり、周知について課題があると感じる。

(3) その他

【各区自治協議会の課題や取組に関する情報共有】

- 今年度の自治協提案事業や今後の活動、また活動の中で感じている課題について各会長から報告がありました。

■各会長からの報告内容

(西蒲区)

- 区内の小、中学生を対象にアンケートを実施する予定。自治協のことを知っているか、西蒲区に将来住んでみたいか等、10項目を調査し、今後、毎年実施することで動向を把握していく予定。
- 自治協の会議は毎月開催。子どもの居場所づくりについてなど、様々な意見交換をしていく。

(西区)

- 10月に西区が実施した発酵街道エリアのイベントに自治協としてブースを出展するとともに、来場者アンケートを実施するなどの協力を行った。アンケート結果などを西区と共有し令和8年度はより規模を大きくしてもらいたい。
- 広報紙では西区をより知ってもらうため、西区の有名人や佐潟などをアピールしていきたい。

(南区)

- 全体会での発言が委員によって偏りがあることをふまえ、委員研修では、防災カードゲームをグループで行った。委員からも好評で、大変有意義な研修となった。

(秋葉区)

- 児童館について、子どもからの意見やワークショップを含め広く意見を集めて議論を行った。
- 新潟薬科大学や、コミ協と連携し、地域の課題を一緒に考える取組を行った。

(江南区)

- 全体会がないときにオフレコ会を開いたり、会議の席次を変えたりと

委員同士の交流を深めるきっかけをつくった。

- 江南区の亀田縞と北区の葛塚縞について合同の研修を行う予定。

(中央区)

- 隔月で開催される全体会において、地域の課題などを討議するため委員間討議の時間を設け、今年度は、猛暑時の避難所運営の問題や自治会未加入者のゴミステーション利用についての問題が話し合われた。

(東区)

- 4月より自転車の交通について、安全運転の啓発やグッズ等の作成を行う。
- 自治会、コミ協の役員向けに、子どもと高齢者が一緒に楽しめるイベントを企画するにあたって役立つ冊子を作成する。
- 新潟空港と地域の活性化について、実際に空港を見学したことをふまえ、さらなる発展のために検討を進めていく。
- 委員研修として哲学対話を行った。

(北区)

- 新潟食料農業大学と連携して、地域と社会のつながりを深めるイベントを模索している。
- 子どもの成長や子育て世帯を支える社会のための事業を実施するため、子ども食堂の見学を行ったり外部講師から話を聞いたりした。
- スポゴミ実施のため、運営方法など今後計画していく。

【事務局からの情報共有】

- 令和7年度の各区自治協提案事業の事業評価について、事務局から情報共有がありました。
- 次回の区自治協議会会長会議の開催時期について、日程の確認を行い、令和8年7月10日金曜日に決定しました。

3 閉会

会議資料

□次 第

□資料1：令和8年度全体委員研修会企画の方向性について

□資料2：令和8年度全体委員研修会 開催内容（案）について

□別紙1：避難者支援システムについて

□別紙2：避難所鍵ボックス設置事例

□別紙3：各都市の移動歯科診療車

□別紙4：災害後の申請制度（まとめ）

□別紙5：魅力発信力向上研修（参考）